

こんにちは! ソンセンニム

안녕하세요!

선생님

第③回

池上和芳 先生

ソンセンニムとは「先生」という意味の言葉です。このコーナーでは全国の、ハングル講座や市民団体などで教えている先生を紹介します。

会社勤務のかたわら、ハングルの独学でマスターし、現在は地元長崎県で語学教室を開かれている池上和芳先生にお話を聞きました。

①どんな授業なのでしょう?

教室のある長崎県諫早市は、私の故郷です。サラリーマンを辞め、駅前のビルの一室を借り、教室を立ち上げて3年になります。現在の生徒数は約40人。韓国の言葉と文化、そしてドラマと俳優をこよなく愛する生徒さんたちと、楽しく勉強しています。

3～6人のクラスが現在10クラスあります。生徒さんは週に1回、90分授業を受けるのですが、「授業で習ったことを、残りの6日間でいかに覚えるかが勝負です」と、折に触れて伝えています。

②オススメの独学法は?

文字と発音の基本的な学習を終えたら、ハングルのじっくり聞いて、わからない部分のつづりと意味を、辞書を引きながら考える、という勉強法が効果的だと思います。まずは初級レベルのCD付き参考書を買って



ハングルの独学で学んだ池上和芳先生

きて、参考書を読む前にCDから聞いて、書き取り練習に励むのです。「この音は、どんなつづりだろう…」と悪戦苦闘した末に出会った単語は、記憶によく残ります。

③読者へのメッセージを!

世界13か国のハングル教師が一堂に集まる研修会が昨年ソウルで開かれ、私も参加してきました。皆さんが学ぶこの言語は、いろいろな国の人が学ぶ、スケールの大きな言語です。学習を通して、広い世界を身近に感じてください。